



いっぺいといっぱく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えます。
市HP「によぜがもん」もぜひご覧ください。

Vol.78 悪いところをチェックするのを「よし」とする社会

今は、親も、子ども自身も、「高校に入ったら…」とか、「この大学に入ったら、大きな会社に入って…」とか先のことばかり心配しています。先のことを心配する親の気持ちもよく分かりますが、私は、先のことの心配だけでなく、「子ども達が、今、生きていることが、こんなにも楽しい」と思えるようにしたいと考え、実践してきました。

私がそう考えるのは、私には小学校に上がる前に亡くなった兄姉が4人いるからかもしれません。

幼い頃の記憶で、両親が、病気で寝込んだ私をのぞき込んで、「この子もあかんじゃろか」と話していたのを今でもはっきりと覚えています。両親にとって私は、とにかく元気に長く生きていてほしい存在でした。「勉強しろ」と言われた記憶はありません。毎日、「ご飯食べたか?」「もう寝ろ」と言われて育ちました。小学生のときの暑い夏の日には、木陰で涼む母親から「大きくなったら、こういう木の下で、ゴロンと過ごすとなえぞ」と言われました。田植えを手伝ったときには、私が苗を投げるたびに、母親は腰を伸ばして、「猫よりましじゃなあ」と笑ってくれました。母親が笑って喜んでくれるのが、うれしかったことを覚えています。今思えば、手伝いをしたことで母親に喜んでもらったこと、褒められたことで、幼いながらも「自分も役に立っているんだ」と自己肯定感を持てたのだと思います。

経済成長の時代、親たちは、「少しでも豊かになりたい。子ども達には、貧しい暮らしはさせたくない」と強く願っていました。豊かな暮らしのためには、「良い学校」「良い会社」に入ることが必須だと考えられていました。「良いところを見つけて伸ばす」よりも、「悪いところを見つけてチェックする」ことの方が必要であり、それを「よし」とする社会でした。しかし、だんだんとそうした社会や職場、学校に身を置くことが辛くなる人が増え、今や不登校は全国で16万人、引きこもりは100万人を超え、大きな社会問題となっています。

今の教育システムは、経済成長の時代に求められたシステムのままのように思います。問題を抱えつつも、教育システムを根本から見直すだけの力が、今の世の中にはありません。そのため、先月号でご紹介した^{こうじまち}麴町中学校の^{くどう}工藤校長のところに、何かヒントを得ようと、多くの視察者が集まるのでしょう。

これからの時代、悪いところを見つけて、悪いものを切り捨てて、「前に進め! 進め!」と鼓舞することは、違うと思います。

人には、それぞれに良いところと、悪いところがあります。完璧な人間はいません。悪いところ、足りないところばかりに目を向けるのではなく、良いところを伸ばしてあげられるようにしたいと思います。

ふれあい つながり みんなが楽しむまちづくり
こんにちは! 西小学校区まちづくり協議会 検索 です。

◆総会（書面決議）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期していた「総会」は、広報誌『みんなの西まち』にて提示する議案の書面決議と、質問にお答えする日を設けて、開催とします。ご了承ください。

◆夏祭り中止

例年8月に、大勢の皆さんにご協力・ご参加いただき開催している「夏祭り」ですが、今年度は、中止とします。

☎0561-64-5331 西小学校区共生ステーション
nishi.no.machikyo@gmail.com

市が洞 市が洞小学校 イメージキャラクター

小学校区まちづくり協議会

<http://ichigahora.sakura.ne.jp/> (協議会HP)

総会の開催に代えて書面表決を実施しました

6月中旬に各ご家庭に書面表決のご案内をしたところ、多くの皆さまよりご参加ご協力をいただき、誠に有難うございました。

集計した結果、提出総数567件、うち5つの各議案については、いずれも賛成多数でご承認をいただきました。尚、票数など詳細はHP、共生ステーション等で報告させていただきます。

今後とも協議会活動に皆さま方のご参加ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

長久手市地域見守り安心ほっとライン

0561-63-5556

24時間
365日受付

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

